

Momo's Journey In Japan Vol.1 (Jp)



(邦題『モモ旅 Vol.1』)

Written by Momo

Translated by Tanya

Cover design by Tanya

Maps copyright © 2017 Increment P Corporation

Copyright © 2017 Momo / The BBB: Breakthrough Bandwagon Books

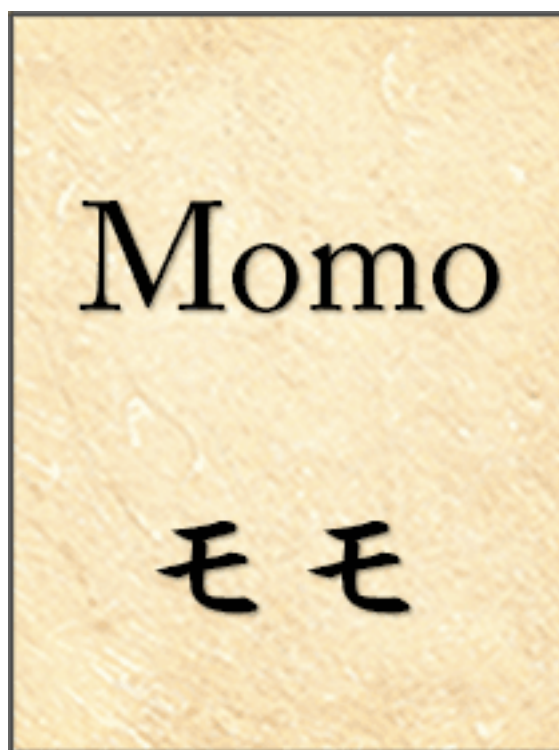
All rights reserved.

ISBN: 978-1-387-12764-1



The BBB ウェブサイト（日本語版）

<http://thebbb.net/jp/>



モモ著者ページ

<http://thebbb.net/jp/cast/momo.html>

0. プロローグ



海外の世界遺産を周る2年間の旅を終えて、モモは、ついに、彼女の生まれ故郷である日本に戻って来ました。

東京国際空港（羽田空港）では、ターニャさんと、ターニャさんのお母さんが、やさしく出迎えてくれました。

東京の雰囲気は以前より騒がしくなっているように、モモには感じられました。

2020年の夏季オリンピック&パラリンピックの開催都市に選ばれたことで、東京を訪れる海外からの観光客は増え続けているようです。

「ねえ、モモ。東京の近辺で、どこか行って見たいところはある？」

それは、もちろん、世界遺産に関する場所です。

日本の官公庁の中心地である霞ヶ関（かすみがせき）のビル群に、ターニャさんはモモを連れて来てくれました。

「ここは、環境省。日本のどの自然資産を世界遺産として推薦するかが決められているの」

ターニャさんの説明を聴きながら、モモは、その聳（そび）え立つ建造物を見上げていました。



環境省

【Address】〒100-8975

東京都千代田区霞が関1-2-2 中央合同庁舎5号館

【TEL】03-3581-3351 (代表)

【E-mail】<https://www.env.go.jp/en/moemail/>

【URL】<http://www.env.go.jp/>





環境省を訪れた後、ターニャさんとモモは、文化庁に向かいました。

同じく霞ヶ関にある同庁は、近々、京都に移転する計画があるそうです。

「世界文化遺産室」という事務所が、そのビルの中にありました。

それについて、ターニャさんが教えてくれました。

「文化庁が定期的に行っている文化審議会で、日本のどの文化資産を世界遺産として推薦するかが決まるのよ」

日本の世界遺産の歴史における聖地を巡礼できて、モモは、とっても興奮しました。

「ターニャさん、このビルと一緒に写真を撮って。超クール！」



📍 文化庁

【Address】〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2

【TEL】03-5253-4111 (代表)

【INQUIRY】<https://inquiry.bunka.go.jp/>

【URL】<http://www.bunka.go.jp>



1. 国立西洋美術館



ある日、モモは、東京・上野にある国立西洋美術館に、やって来ました。

聞いたところでは、トルコのイスタンブールで2016年7月10日から開催されている「第40回世界遺産委員会」で、国立西洋美術館が世界遺産として新たに登録されるようなのです。

トルコ時間で7月15日の夜か16日の朝に、決まるようです。

イスタンブールと東京は6時間の時差があるので、モモは眠っている最中でしょう。

そうしてこの美術館に興味を持ったことが、今日の訪問の理由です。

外の灼（や）けるような熱さと比べると、建物の中は涼しくて、快適でした。

「あそこの銅像の人、熱すぎて立ち上がれないみたい」

みんな、熱中症には気をつけて！





トルコのイスタンブールで発生したクーデターの影響で「第40回 世界遺産委員会」は一時的に休会されてしまいましたが、国立西洋美術館は、世界遺産として新たに登録されました。

モモは、とても嬉しかったので、また上野を訪れ、建物の中を探索しました。

ボランティアのガイドさんのお話によると、ほとんど壁がなく、屋根を支えているのは、おもに柱です。

このような構造が空間を広くしていて、その様式は「ピロティ」と呼ばれているそうです。

もしモモが自宅にピロティを導入したら、大きなフトンを広げて日光浴できるかな？

—陽射しは、とっても熱そうだけれど……



 **国立西洋美術館本館**
(ル・コルビュジェの建築作品：近代建築運動への顕著な貢献)

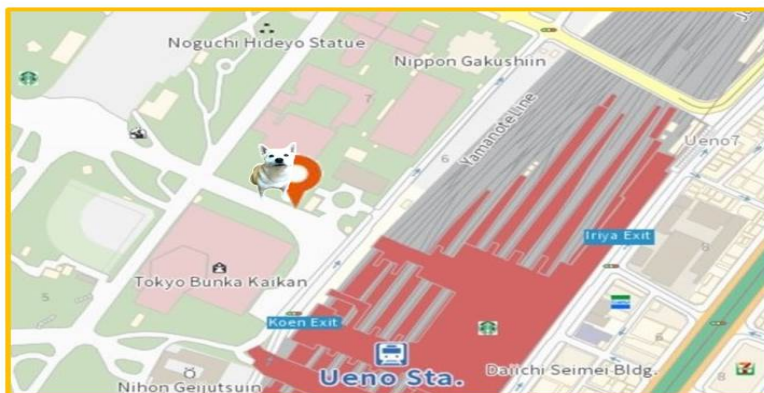
【Address】〒110-0007 東京都台東区上野公園7-7

【TEL】 03-5777-8600 (Hello Dial)

【FAX】 03-3828-5135

【E-mail】 info@nmwa.go.jp

【URL】 <http://www.nmwa.go.jp/>



2. 小笠原諸島



ターニャさんとモモは、東京の竹芝港で「おがさわら丸」というフェリーに乗って、日本の世界遺産のひとつである小笠原諸島へと、やって来ました。

太平洋上のこれらの島々も東京都に属していますが、東京湾から、なんと、1,000 キロメートル以上も離れているのです。

到着するまで、フェリーで24時間かかりました。

小笠原諸島の中でいちばん大きな父島へ、ついに到着した時、モモは、とても気持ちのいい潮風に包まれました。

ターニャさんも、ごきげんです。

「モモ、いっしょに泳ごう！」

ーよーしっ！自慢の犬かきを、ターニャさんに見てもらおう！



MOMO is HERE!

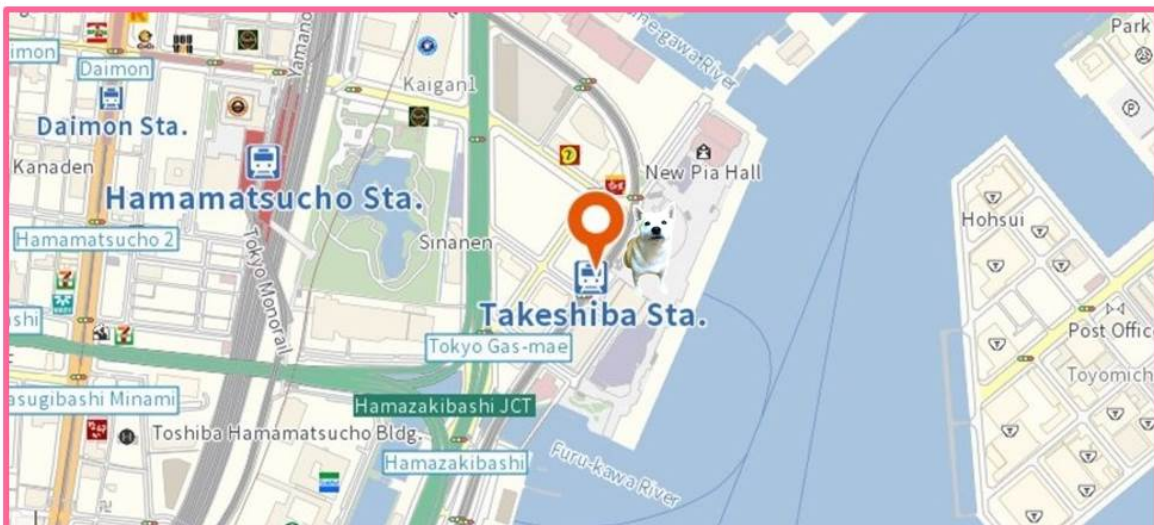
竹芝客船ターミナル

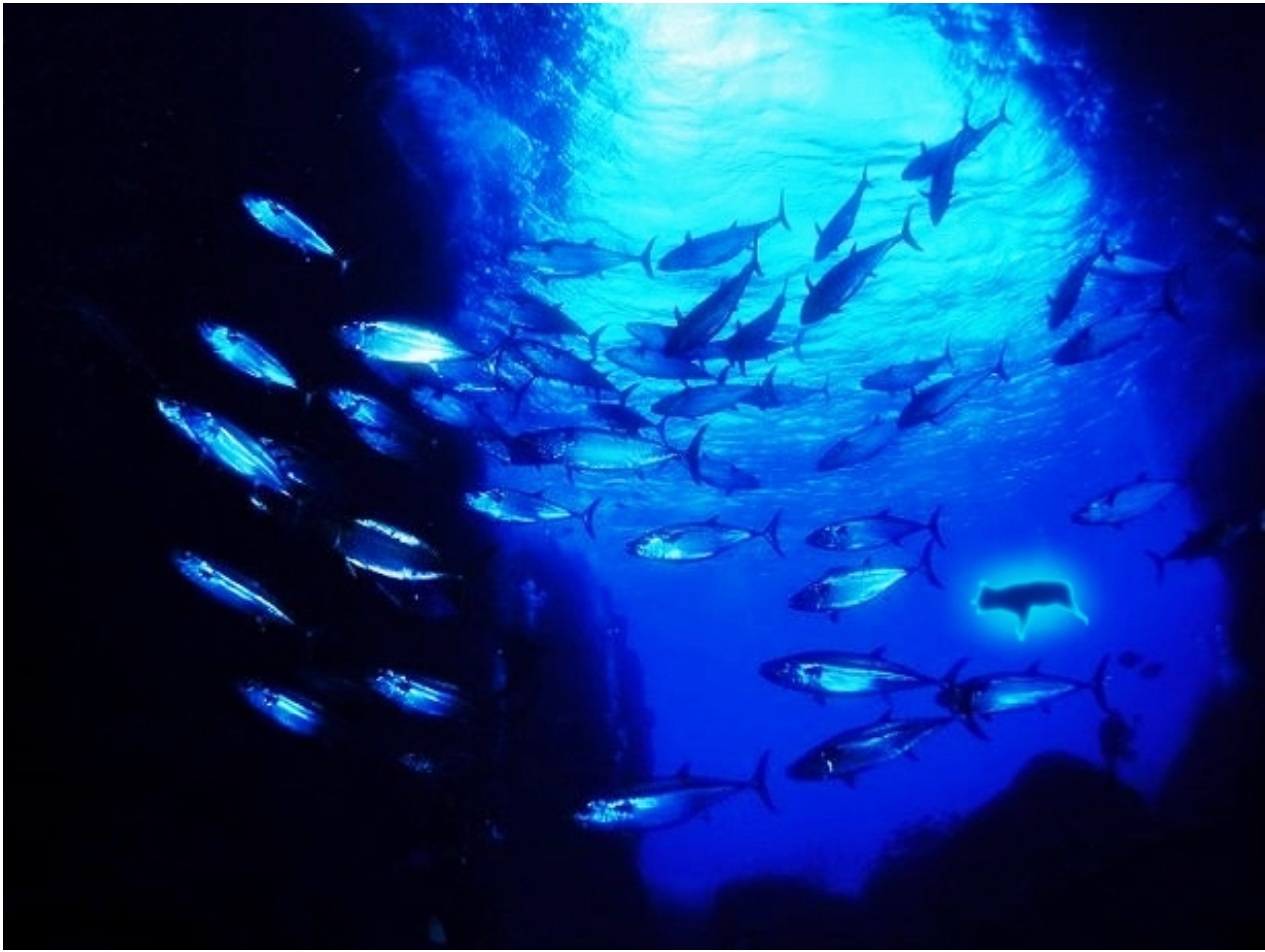
【Address】〒105-0022 東京都港区海岸1-16-3

【TEL】 03-3432-8081 (代表)

【FAX】 03-3432-8082

【URL】 <http://www.tptc.co.jp/terminal/guide/takeshiba>





ターニャさんとモモは、小笠原諸島の無人島、嫁島にやって来ました。

父島から嫁島へは、ボートで1時間くらいです。

モモたちは、美しい海の中で、いっしょに楽しく泳ぎました。

犬かきを披露することに夢中になりながら、モモは海の深い部分へと潜っていきます。

その時、マグロさんの大家族がやって来て、モモを取り囲みました。

マグロさんたちは泳ぐのがとても速く、ぐるぐる回っています。

「わあ！洗濯機の中にいるみたい。とっても楽しい！」



**MOMO
is HERE!**





ターニャさんとモモは、また父島に戻って、島内を探索しました。

この島にしか棲息（せいそく）していないという動物や植物にも出会えました。

この大自然の風景は、東京都心のそれとは、まったく異なっています。

モモは、この島で暮らすカタツムリ、カタマイマイさんとのお話を楽しんでいました。

その時、どこからともなく緑色のトカゲが現れて、カタマイマイさんを睨んで怖がらせ始めました。

そのトカゲはグリーンアノールという名前で、カタツムリさんやセミさんたちをイジメているのだそうです。

モモは勇気を出して、その小さな悪党に言いました。

「ね、ねえ！わ、わ、わたしのお友だちを、イジメないで！」





ターニャさんとモモは父島の森を歩いていました。

千尋岩（ちひろいわ）、またはハート・ロックと言われる有名な断崖を目ざしているのです。ジャングルのような密林の中で、コンクリートの廃墟や、人工的な穴や、壊れたジープなどを見つけました。

ターニャさんによると、そうした場違いな品々は、約70年前の戦争の遺物なのだそうです。

ターニャさんの故郷は、広島の上に原爆が落とされた長崎です。

ふたりは手（モモは肉球）を合わせ、世界平和のために、気持ちを込めて祈りました。



MOMO is HERE!



ターニャさんとモモは、父島で定期船に乗り込みました。

2時間ほどの航海を経て、小笠原諸島で2番目に大きな母島にやって来ました。

密林の中を歩いていると、どこからともなく、可愛らしい歌声が聞こえます。

歌声に誘われるようにして、ハハジマメグロさんのキュートな姉妹に出会いました。

彼女たちは歓迎の歌を披露してくれたばかりか、パパイヤまでくれました。

それは、彼女たちの大好物だそうです。

パパイヤを食べながら、モモは、彼女たちの歌声を楽しみました。

MOMO is HERE!





楽しかった夏期休暇も、ついに最後の日になりました。
ターニャさんとモモが本州に帰る日でもあります。
帰りも、来た時と同じ定期船「おがさわら丸」に乗り込みます。
汽笛を鳴らして、定期船は、ゆっくりと海岸を離れます。
澄んだ青空を、気持ちのいい潮風が吹き抜けていきます。
—小笠原諸島って、本当に素敵な世界遺産ね！
モモは、島々に前脚を振って、お別れのあいさつをしました。
肉球だけでなく、何度も尻尾も振っていたのです。



小笠原諸島

【Address】小笠原村役場

〒100-2101 東京都小笠原村父島字西町

【TEL】04998-2-3111 (代表)

【お問い合わせフォーム】<https://www.vill.ogasawara.tokyo.jp/inquiry/>

【URL】<https://www.vill.ogasawara.tokyo.jp/>



3. 法隆寺と法起寺



モモは今日、奈良県の法隆寺を2年ぶりに訪問しています。

京都と同じく、奈良は古代日本の都で、観光客に、とても人気があります。

お坊さんたちがモモに教えてくれたところによると、法隆寺は1,500年も前に、聖徳太子さんと推古天皇さんによって建てられたのだそうです。

このお寺の金堂と五重塔が世界最古の木造建築であることは、以前、学びました。

台風や地震や火事などがあったのに、何世紀ものあいだ、建ち続けて来たのです。

その荘厳な迫力はモモの言葉を奪い、深く魅了しました。



MOMO is HERE! ↖



法隆寺の敷地内を歩いていたモモは、存在感のある八角形の建物を見つけました。

近くを通ったお坊さんのひとりが、モモの関心に気づきました。

「モモちゃん、この建物を知ってるかい？夢のお堂、という意味の『夢殿（ゆめどの）』だよ」
そのお坊さんよると、夢殿は、昔の人たちが亡くなった人たちに会うために建てられたそうです。

彼らは、亡くなった人たちが夢の中に出てくると信じていたのです。

モモは、自分の生物学上の両親のことを考えましたが、なにひとつ、おぼえていません。

「この夢殿に入って、お父さんとお母さんに会えたらいいのにな……」





法隆寺のお坊さんたちはモモに親切で、夢殿の中に祀られている秘密の彫像を特別に見せてくれました。

とても古くなっていましたが、素晴らしい彫像です。

「モモちゃん、これは、救世観世音菩薩（ぐぜかんぜおんぼさつ）という神聖な彫像なんだよ」

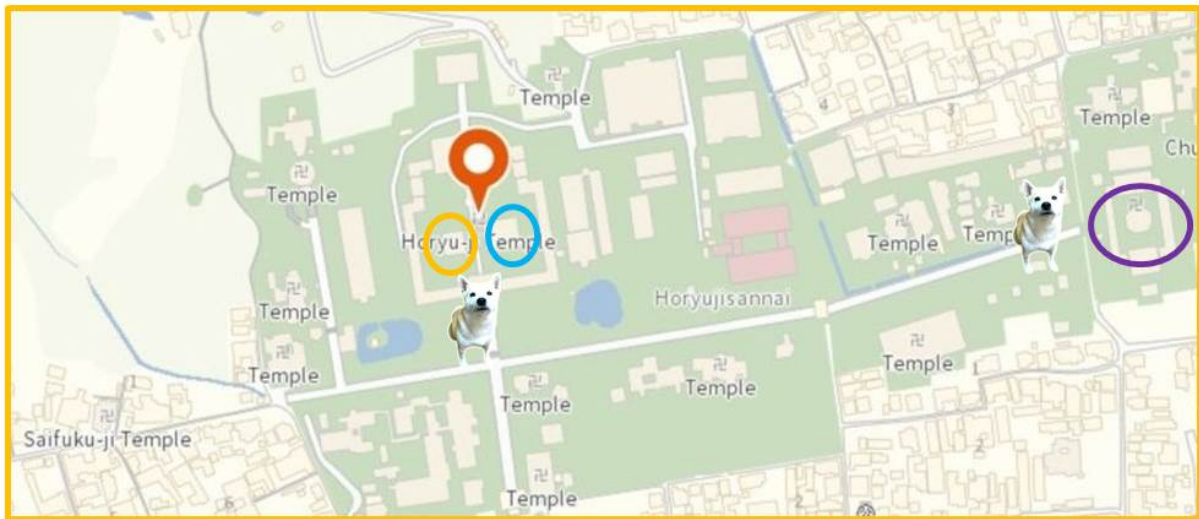
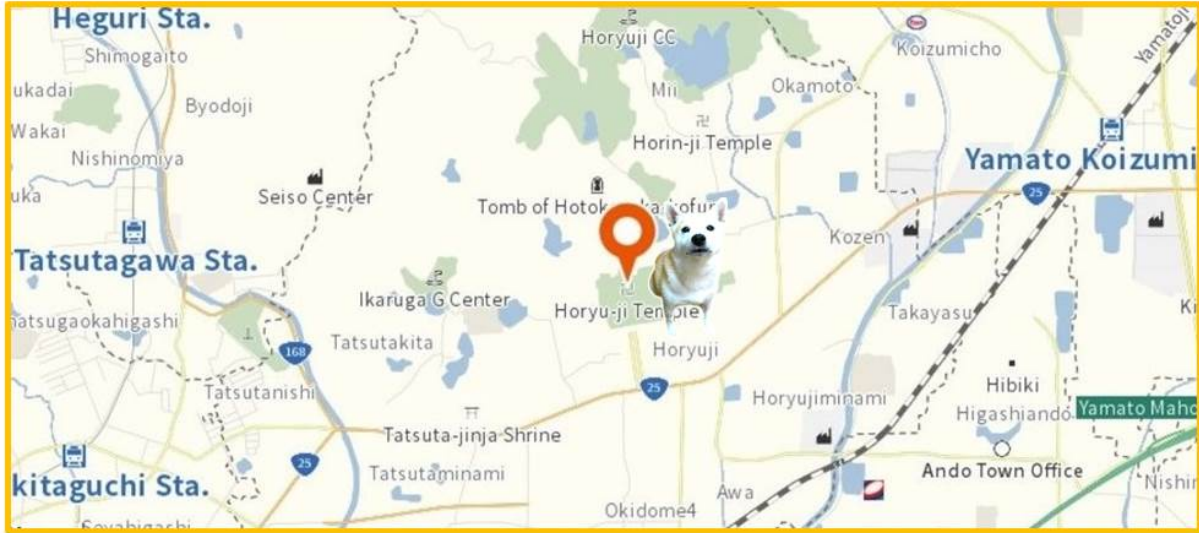
それは 178.8 センチメートルで、聖徳太子さんと同じ身長だと言われているそうです。
モモは身長 38 センチメートルなので、5 ぶんの 1 です。
爪先立ちをして全身を伸ばしましたが、彫像の胸にさえ届きません。
「聖徳太子さんって、背が高かったんだね！」



📍 法隆寺

(法隆寺地域の仏教建造物群)

【Address】 聖徳宗総本山 法隆寺
〒636-0155 奈良県生駒郡斑鳩町法隆寺山内1-1
【TEL】 0745-75-2555 (代表)
【URL】 <http://www.horyuji.or.jp>



- 金堂
- 五重塔
- 夢殿



モモは奈良の世界遺産のひとつ、法起寺（ほっきじ、または、ほうきじ）に、やって来ました。
この寺院は、尼寺として建てられたようです。

敷地内を歩いていると、色とりどりのコスモスが咲き誇っているのを見つけました。

「わあ！とっても素敵なお花畑！」

心地いい薫りの中で、モモは、特にピンクのコスモスが気に入りました。

ピンクは日本語では「モモ」と呼ばれるからです。

MOMO is HERE!





奈良県に滞在している時に、モモは法隆寺や法起寺など、いくつかの有名な寺院で火災訓練が行われているのを目にしました。

参加していた人たちによると、1949年に法隆寺の金堂の壁画が火災で損失してから、この国では多くの寺院で火災訓練が大々的に行われているそうです。

日本の寺院は、すべて木造ですので、いったん火事になると、すべて燃えてしまいます。

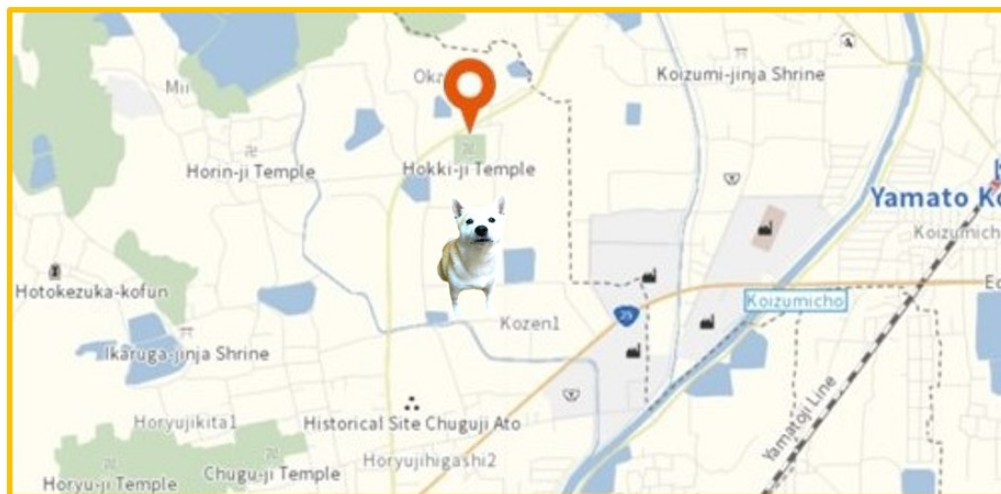
モモは法隆寺の現存する壁画に感動しましたので、その安全性が心配になって、火災訓練に参加しました。

「火のよーじん！火のよーじん！」



 **法起寺**
(法隆寺地域の仏教建造物群)

【Address】 聖徳宗総本山 法起寺
〒636-0102 奈良県生駒郡斑鳩町岡本1873
【TEL】 0745-75-5559 (代表)
【URL】 <http://www.horyuji.or.jp/hokiji.htm>



4. 姫路城



ある日、モモは、兵庫県にある世界遺産、姫路城にやって来ました。

前回ここを訪れたのは、世界旅行へと旅立つ少し前のことです。

外遊していた2年のあいだに、姫路城の改装工事は終わっていました。

再現された創建当初の姿は、ものすごく白くて、モモはビックリしました。

「わあ！元のお城は、こんなにも白かったんだ！」

このお城の「白鷺城（しらさぎじょう）」という愛称を、モモは以前から知っています。

ですが最近では、「白すぎ城」とまで呼ばれているそうです。

たしかに、まぶしいほど白くて、モモは変顔になってしまいました。

MOMO is HERE!



姫路城は、とても広くて、迷路か何かのようにさえ感じられました。

天守閣前の広場では、多くの人たちが、お城といっしょに写真を撮っています。

「ねえ、モモちゃんも写真に入ろうよ！」

誘われて、モモは何度か写真に入りました。

ふと空を見上げると、何羽かの鳥が飛んでいて、とても気持ち良さそうでした。

モモは鳥たちに肉球を振りました。

「ねえ、わたしは、ここよ！わたしが見える？」

もし彼女が鳥なら、空から見下ろすお城は、きっと素晴らしいものでしょう。





姫路城は本当に巨大で、終わりがないようにすら感じられました。

お城の中を楽しく走り回っているあいだ、モモは、たくさんの観光客に話しかけられました。

「モモちゃん、それは、ハロウィンの仮装かい？どこで見つけたの？可愛いね！」

みんな服装をほめてくれるのですが、モモ自身には、それは見えません。特に背中に描かれている絵は。

それが、モモには残念でした。

あたりが暗くなって来たので、モモは、おうちに帰ろうと思いました。夜のお化けが怖いからです。

「いたずら？それとも、お菓子？（Trick or treat?）」

この場合、「旅行？それとも、お菓子？（Trip or treat?）」でしょうか。

難しい選択だけれど……モモは、旅行より、お菓子のほうが好きなことが多いようです。



MOMO is HERE!





姫路城の周りを歩いていると、モモは、朽ち果てた古い井戸を見つけました。

近くを通った人たちが、怖い話を教えてくれました。

昔、お菊さんという名前の女中さんが、無実の罪で責められて、殺されて、この井戸に投げ込まれてしまったというのです。

雇い主が大切にしていた貴重なお皿を、彼女の不注意で無くしてしまった、という疑いだったそうです。

それ以来、女性がお皿を数える恨みのこもった声が、夜になると、井戸から聞こえてくるのだとか。

「いちま～～～い……。にま～～～い……。さんま～～～い……」

あまりの恐ろしさに、モモは、ふるえを止めることができませんでした。

「そんな話を聞いたら、今夜は眠れないじゃない！怖いんだから！」





姫路城を出発しようとして、モモは、素晴らしい日本庭園を見つけました。

ライトアップされたその形式は、息を呑むほど綺麗でした。

「わあ！なんて素敵な景色！」

この好古園（こうこえん）という庭園は、お城の背景として、つくられたようです。

庭園は世界遺産ではないようですが、ここも姫路城の一部だとモモは思いました。

まるで不思議の国に迷い込んだかのようなようです。



姫路城

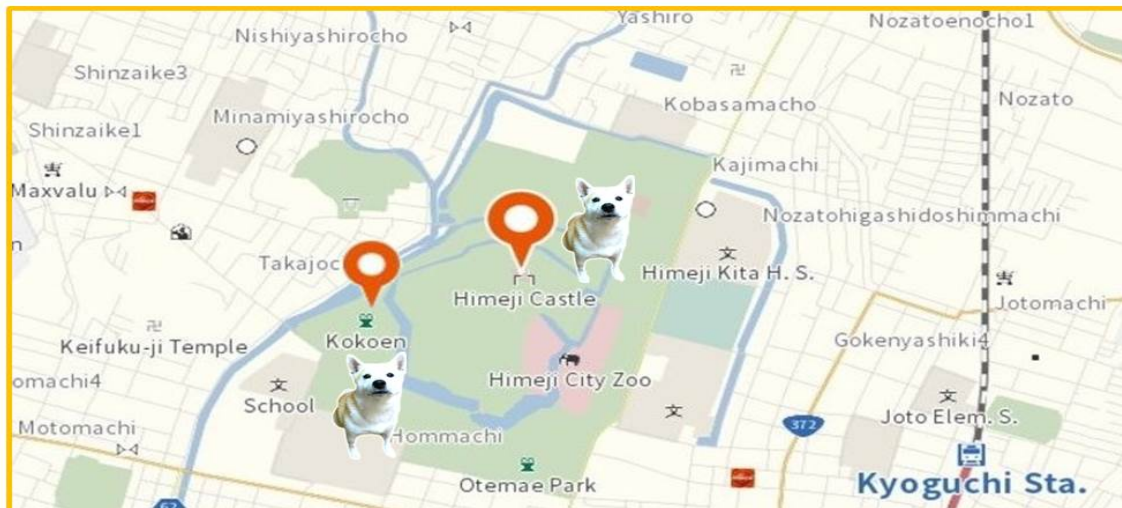
【Address】 姫路城管理事務所
〒670-0012

兵庫県姫路市本町68番地 姫路城 三の丸広場 北側

【TEL】 079-285-1146 (代表)

【FAX】 079-222-6050

【URL】 <http://www.city.himeji.lg.jp/guide/castle/>



5. 白神山地



ある日、モモは、白神山地を2年ぶりに訪れていました。

この場所は、日本で最初に世界遺産に登録された4か所のひとつなのだそうです。

東北地方の秋田県と青森県にまたがって、巨大な森が広がっています。

この地域はあまりにも巨大なので、前回の訪問時に迷ってしまったことを、おぼえています。

森の奥深くで、美しい青い池を見つけました。

「わあ！澄み切って、綺麗な池！」

水を飲み、池の中で遊ぶのに夢中になりました。

どこかで地図を落としてしまったらしく、モモは、また迷ってしまいました……





ブナの原生林をどうにか抜けて、モモは白神岳の真正面にまで、ついに辿りつきました。

緑の山と空の青のコントラストが、とても鮮やかです。

このあたりは気温が低いので、モモの息は白くなります。

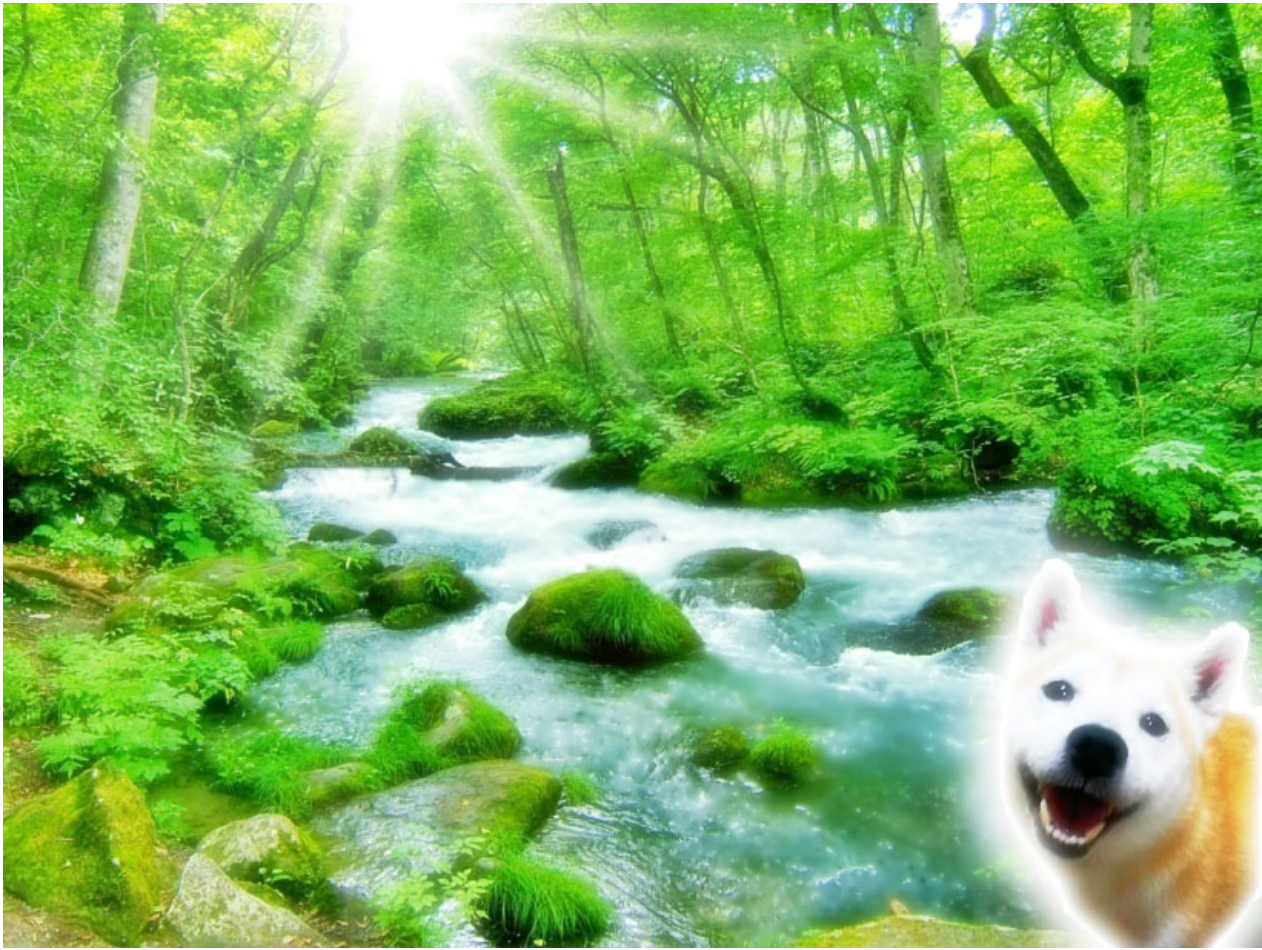
冷たい、湿った空気は東京のそれよりずっと澄んでいて、とても気持ちいいです。

空に浮かぶ雲は綿菓子のように、モモは不意に、それに触りたくなりました。

後ろ脚で立ち、モモは何度も何度も、空へ前脚を伸ばします。

「うーん……。無理かな？」





白神山地を歩きながら、モモは、美しい山や小川に魅了されました。

支流のひとつ、追良瀬川（おいらせがわ）で、モモは澄んだ冷たい水で渴いた喉を潤しました。

突然、川の中から、アユの家族が飛び出して来ました。

アユの女の子が、モモを誘ってくれました。

「モモ、わたしたちと、いっしょに泳がない？」

「わあ、それって楽しそう！」

モモは水に飛び込み、お得意の犬かきを披露しました。

アユの女の子は、どんどんスピードを上げます。

「あの子、なんて速いの！」



MOMO is HERE!





ブナの森でお昼寝していたモモは、近くでだれかが葉をこする音がして、飛び起きました。あたりを見回すと、ニホンカモシカの男の子が、こちらへ歩いて来ます。彼女の2倍以上の大きさかもしれません。

「シーッ。今、友だちと隠れんぼしてて、隠れる場所を探しているんだ」
なんだ……驚かさないでよ！

モモは安心して、また、うとうと眠り始めました。
陽射しが暖かくて、とても気持ちいいです。



MOMO is HERE!



白神山地は昨夜、ひと晩中、雪だったようです。

日の出とともにモモが山小屋で目をさますと、見渡す限りの雪景色でした。

モモは山小屋を飛び出し、興奮して雪景色を駆け回りました。

とても楽しくて、時間を忘れていました。

「くしゅん！」

いつの間にか、からだがか冷えています。

「こたつで暖まらないと！」



白神山地

【Address】 白神山地ビジターセンター
〒036-1411
青森県中津軽郡西目屋村大字田代字神田61-1

【ZIP】 036-1411

【TEL】 0172-85-2810 (代表)

【FAX】 0172-85-2833

【E-mail】 <http://www.shirakami-visitor.jp/inquiry.html>

【URL】 <http://www.shirakami-visitor.jp/>



6. 屋久島



お正月休暇の時期でしたので、東京国際空港（羽田空港）は、故郷や海外から東京に戻ってくる人たちで、ごった返していました。

モモは東京から鹿児島空港に飛び、そこから小さな飛行機で屋久島を訪れました。

屋久島は、九州の南西にある孤島です。

モモがここを訪れるのは、2年ぶりとなります。

「わあ！思ったより暖かい。日差しが気持ちよくて、春みたい！」



MOMO is HERE!



モモが屋久島の森を散策していると、にわか雨に遭いました。

巨大な杉の樹の下で雨宿りしていると、ヤクシカのお姉さんに出遭いました。

ヤクシカのお姉さんは、モモに微笑みかけてくれました。

「この場所は一年中、湿度が高いから、わたしたちは綺麗なお肌を保っているのよ」

彼女によると、屋久島の降水量は、東京の5倍ほどになるのだそうです。

—わたしも、お姉さんみたいに綺麗になれるかな？



MOMO is HERE!



モモが後について歩いていると、ヤクシカのお姉さんが足を止めました。

「モモちゃん、その杉の切り株に入って、上を見てごらん」

驚いたことに、空がハートの形に見えました。

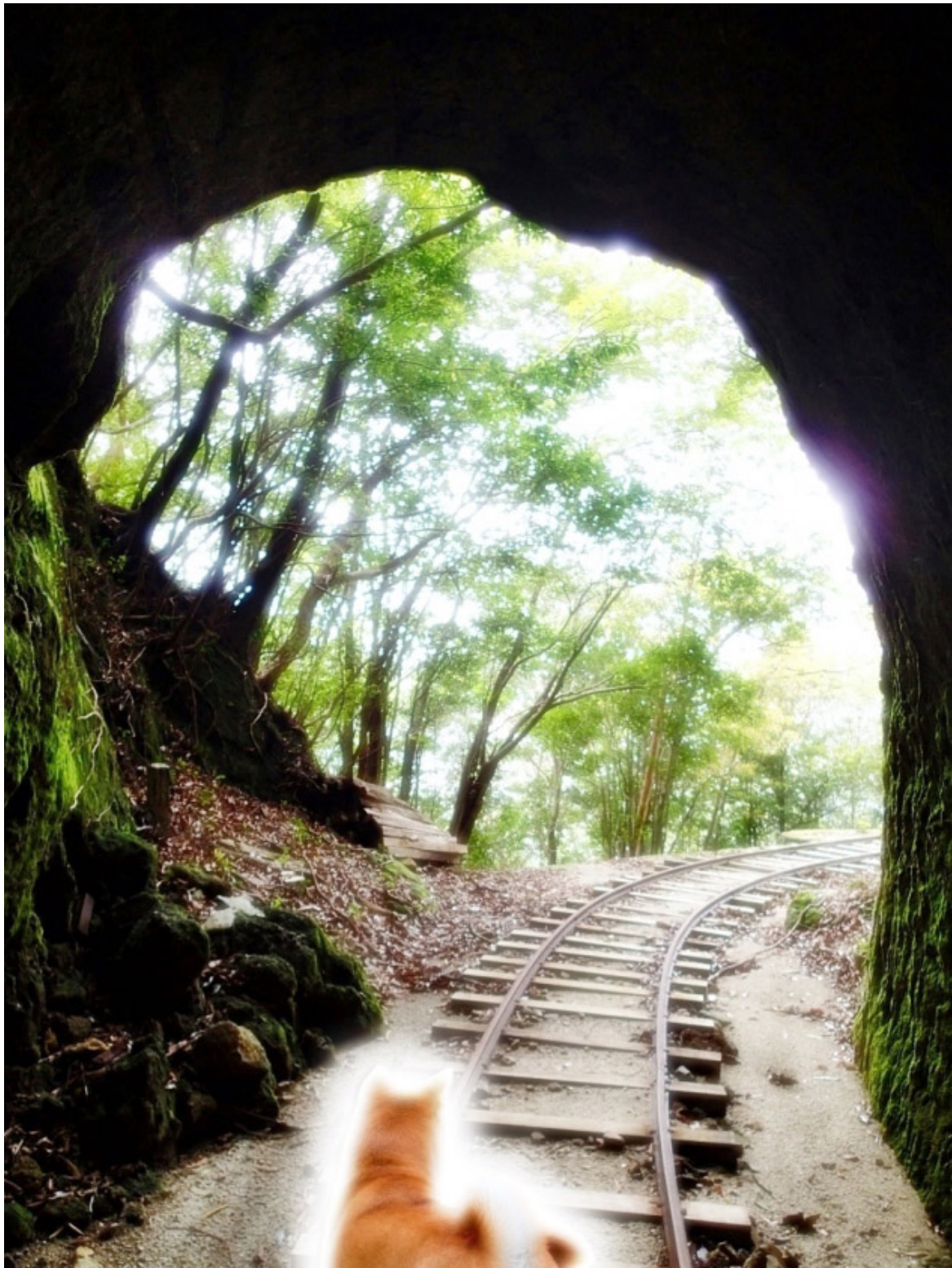
「うわあ、とっても可愛い！」

お姉さんによると、それは「ウィルソン株」と呼ばれているそうです。

かつてこの杉を調査していた、ウィルソン博士という人に由来するのだとか。

屋久島での、とても忘れられない思い出になりました。





ヤクシカのお姉さんは、モモを、線路のあるところまで連れてきてくれました。

屋久島の森の奥深くを線路が走っているなんて、驚きました。

その景色から、昔、ターニャさんと観た映画のことが思い出されます。

「すごい！『スタンド・バイ・ミー』みたい！」

それは、かつて屋久杉を運ぶのに使われていたトロツコの線路のようです。
線路を歩いていると、『スタンド・バイ・ミー』のテーマ曲が聴こえる気がしました。





久しぶりに、とても良いお天気の日になりました。

モモは、屋久島の海岸を、お散歩しました。

遠くから、船の汽笛が聞こえてきます。

モモが乗る予定の定期船が、宮之浦漁港に近づいているようです。

それは、モモの屋久島での旅の終わりを意味しました。

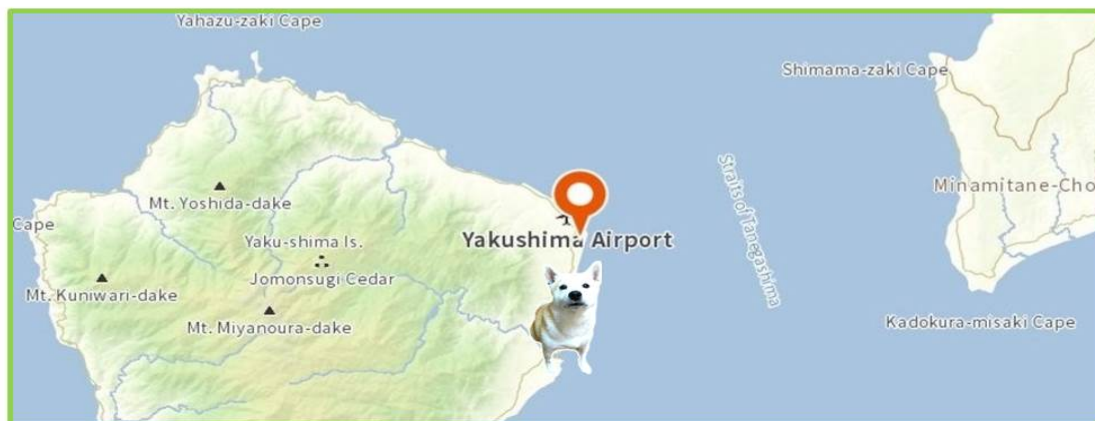
一次は、どこの世界遺産に行ってみようかな？

次の冒険のことを考えるだけで、モモは、ワクワクしてしまうのでした。



屋久島

【Address】 屋久島町役場 本庁
〒891-4207 鹿児島県熊毛郡屋久島町小瀬田469-45
【TEL】 0997-43-5900 (代表)
【FAX】 0997-43-5905
【E-mail】 info@yakushima-town.jp
【URL】 <http://www.town.yakushima.kagoshima.jp/>



(モモの次なる冒険に続く)

7. ギャラリー



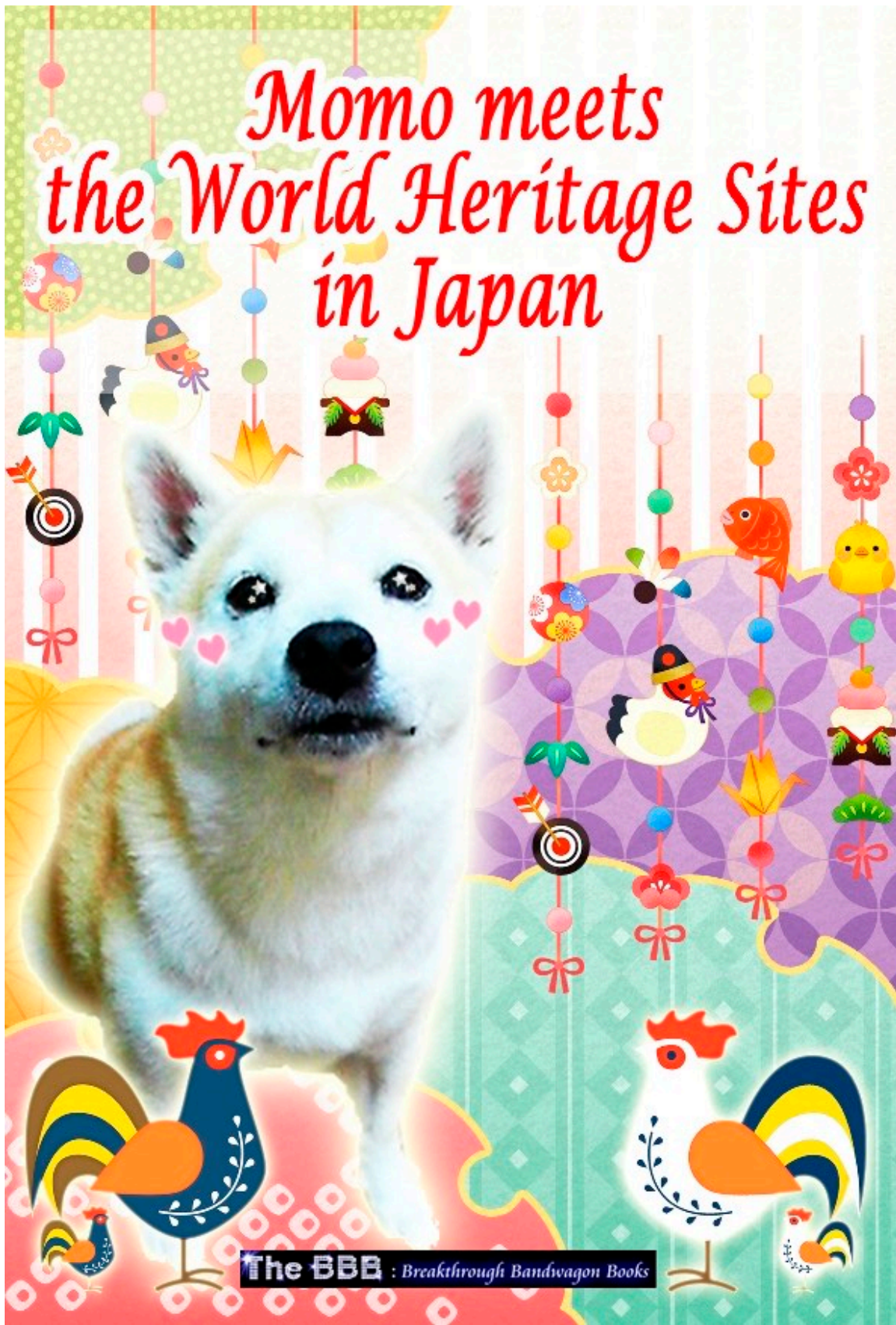
*May you have a warm,
joyful Christmas this year.*



MOMO is HERE!

The BBB : Breakthrough Bandwagon Books

Momo meets the World Heritage Sites in Japan



The BBB : Breakthrough Bandwagon Books

Happy New Year!

May this New Year brings you
a peace filled life, warmth and togetherness
in your family and much prosperity!



MOMO is HERE!



2017



The BBB : Breakthrough Bandwagon Books



Happy New Year 2017

*Life is an accessible diary
filled with empty pages
waiting for you.
Fill them up with your story
as you go.*

The BBB : Breakthrough Bandwagon Books



本書は The BBB: Breakthrough Bandwagon Books のためにつくられたオリジナル作品です。

The BBB でのモモ著作リスト



モモの世界遺産旅行記～日本編～

<http://thebbb.net/jp/ebooks/momo-meets-the-world-heritage-sites-in-japan.html>



モモの世界遺産旅行記～世界編 Vol. 001-025～

<http://thebbb.net/jp/ebooks/momo-meets-the-world-heritage-sites-globe01.html>

The BBB でのモモ著作リスト



モモの世界遺産旅行記～世界編 Vol. 026-050～

<http://thebbb.net/jp/ebooks/momo-meets-the-world-heritage-sites-globe02.html>



モモの世界遺産旅行記～世界編 Vol. 051-075～

<http://thebbb.net/jp/ebooks/momo-meets-the-world-heritage-sites-globe03.html>

The BBB でのモモ著作リスト



モモの世界遺産旅行記～世界編 Vol. 076-101～

<http://thebbb.net/jp/ebooks/momo-meets-the-world-heritage-sites-globe04.html>